

# 平成30年度 食育・地産地消に関する施策の実施状況

## 1 県民への食育推進

### ㊦ 食育映画鑑賞会の開催

県民への食育推進、食育への関心向上を目的に、初の試みとして食育月間がスタートする6月1日（金）に、農林水産省後援のドキュメンタリー映画「カレーライスを一から作る」の映画鑑賞会をJR福井駅近隣の施設「ハピリンホール」にて開催した。

事前に、チラシ、ポスター、新聞、ラジオ等で広報した結果、当日は200名以上の県民の来場があり、親子連れの鑑賞も複数あった。

映画鑑賞後の感想から、食べものをいただくことは命をいただいていること、いただきますの意味を改めて考えた等、食への感謝を育む機会となったことが確認できた。

### ○ 食育・地産地消の取組み展示

6月の食育月間、11月の「ふくい味の週間」に合わせ、県民の方々が多く利用する施設にて、県および各市町の食育や地産地消に関する取組みを紹介する展示を行った。

6月 4日（月）～ 6月 7日（木） 県庁ホール

6月12日（火）～ 6月26日（火） 福井県生涯学習館

11月12日（月）～11月16日（金） 県庁ホール

## 2 「福井のごはんを食べて強くなろう！運動」の推進

「福井しあわせ元気国体・障スポ」の開催等により、県民のスポーツへの関心が高まっている。このような背景のもと、スポーツに取り組む福井の子ども達や県民が大会などにおいて、最高のパフォーマンスを発揮できるよう、大切なエネルギー源となる「お米」や福井のおいしい食材で応援し盛り上げるとともに、「スポーツ栄養」を通じて食育・地産地消を推進した。

### ㊦ 飲食事業者向けのスポーツ栄養学講座の開催

食事や弁当を提供する事業者を対象に、スポーツ栄養学に基づいた知識を習得し、地元食材を活用した食事や弁当の提供につなげることを目的とした講座を、坂井農林総合事務所と連携し開催した。

7月2日（月）「スポーツ栄養学に基づいたお弁当・食事を学ぼう」講座

<対象者> 6次産業化農業者、飲食店、宿泊施設、給食関係者等

<講師> (株)しょくスポーツ代表 公認スポーツ栄養士 こばたてるみ氏

<主催> 坂井農林総合事務所

## ⑨ 国体関係者等への「福井の地産地消スポーツ弁当」の推進

ご飯を中心とした食事の大切さと、福井の食材について関心を高めることを目的に福井の食材を使用した、スポーツする身体づくりに適したお弁当の推進として、今年度は、「福井しあわせ元気国体・障スポ」の開催に合わせ、国体関係者や選手等へ「福井の地産地消スポーツ弁当」の普及を図った。

4月3日（火） 県体育協会主催「特別強化コーチ研修会」にて、国体出場選手等へ「福井の地産地消スポーツ弁当」の目的とスポーツ栄養学に基づいた商品基準等について紹介した。

4月11日（水） 地区別食育・地産地消連携会議にて、各市町の食育・地産地消担当者を  
～16日（月） 介し、各市町で開催の国体協議の会場で提供する弁当を担当する部署へ、「福井の地産地消スポーツ弁当」の活用を提案

※「福井の地産地消スポーツ弁当」として認定の2種類の弁当が国体協議会場で提供する弁当として採用

11月18日（日） 県産業会館で開催「ふくい食の祭典」にて、来場の県民へ国体選手も利用した弁当として「福井の地産地消スポーツ弁当」をPR販売

## 2 「ふくいの食育リーダー」の活動促進

地域に密着した食育や地産地消に係る専門的な課題に対応できる人材として育成した「ふくいの食育リーダー」（平成26年度～27年度の2年間：165名認定）の活動促進に向けて、PRやフォローアップ事業を実施した。

### ○認定者と活用制度の周知

地域や各種団体における食育や地産地消の研修会等に「ふくいの食育リーダー」を活用してもらうために作成した、認定者名と活動分野、活用方法、活用する場合の補助制度等を紹介したパンフレットを希望者に配布し県民の方々に周知した。

### ○フォローアップ研修会の開催

「ふくいの食育リーダー」の能力向上と活動促進につなげることを目的とした研修会を開催した。関係部局と連携し活動展開の参考となる研修会等の情報を提供し参加を促した。

6月1日（金）食育映画「カレーライスを一から作る」上映会

<内 容>大学のゼミ活動で、カレーライスに必要なもの（米、野菜、スパイス、肉、調味料等）を自分たちで育てて調理する活動を通じて、食べることは命を頂くことといったことを知る映画を鑑賞し、食育について改めて学ぶ上映会

3月20日（水）「ふくいの食育リーダー」フォローアップ研修会

<内容>講演「三世代への食育を進める方策について」

～子どもと保護者・祖父母と一緒に学ぶ食育の推進～

講師 白梅学園大学 子ども学部 子ども学科

准教授 林 薫 氏

意見交換「第3次ふくいの食育・地産地消推進計画」推進に向けて

アドバイザー 林 薫 氏

### 3 世代に対応した食育の推進

「ライフステージに応じた食育推進事業」により実施した。

事業メニュー	内 容
未就学児と親子を対象とした「はじめての食育」活動	4市町(福井市、大野市、若狭町)の幼稚園等(計7団体)で実施
小学校への農業体験学習	2市(福井市、小浜市)の22小学校55学級で実施
小・中学生を対象とした味覚(基本五味)を学ぶ授業	7市町(福井市、坂井市、鯖江市、大野市、越前町、若狭町、おおい町)の公立小・中学校および奥越特別支援学校(98校210学級)で実施(見込)
高校生を対象とした食材を知る授業	坂井高等学校、奥越明成高等学校、奥越特別支援学校、丹南高等学校、科学技術高等学校(5校26学級)で実施
ふくいの食育リーダーを講師とした食育出前講座	地域公民館、こども会育成会、地区婦人会等の食育・地産地消関連企画に、延べ40人派遣(見込)

## 4 地場産学校給食の推進

### ○「ふくいの地場産学校給食推進事業」の実施

・「食育月間」および11月24日「和食の日」を中心とした日等における「地場産給食」の実施

4月6日（金） 市町教育委員会・農林担当課へ実施協力依頼（文書通知）

5月～ 食材の確保について、直売所等と生産者との調整を各地域で実施

6月1日（金）～7月20日（金） 「地場産給食」の実施

8月8日（水）県地場産学校給食推進会議の開催

＜対 象＞流通関係者（市場、JA）、

学校給食関係者（栄養教諭、スポーツ保健課）、農林総合事務所

＜内 容＞主要農産物の県内流通推進について、地域での取り組みについて

10月～ 食材の確保について、直売所等と生産者との調整を各地域で実施

㊦ 10月19日（金）地場産学校給食地域コーディネーター研修会（第1回）の開催

＜内容＞講演「地場産学校給食コーディネーターの仕事について」

講師 一般社団法人塩尻市農業公社

農産物流通コーディネーター 村上かほり氏

グループディスカッション

テーマ「地場産物を学校給食に取り入れる方法について」

アドバイザー 村上かほり氏

11月1日（木）～30日（金） 「地場産給食」の実施

11月22日（木） 和食特別授業の実施

＜場 所＞坂井市立長畝小学校

＜内 容＞敦賀の昆布とだしの歴史

＜テーマ＞「だし」について知ろう

＜講 師＞（株）奥井海生堂 代表取締役 奥井隆 氏

〔（一社）和食文化国民会議 理事〕

F' S LaBo 室長 清水知美 氏

⑨ 2月25日（月） 地場産学校給食地域コーディネーター研修会（第2回）の開催

<内容>講演「学校給食に地場産物を取り入れるために」

講師 女子栄養大学 名誉教授 金田雅代 氏

グループディスカッション

「地場産物を学校給食に取り入れるためにすべきことについて」

随時

地域別地場産給食推進会議の開催（各農林総合事務所別）

<対 象> 地域コーディネーター、流通関係者（市場、J A）、学校関係者、  
農林総合事務所、

<内 容>地場産食材を用いた和食給食メニューの開発や使用率向上に  
向けた対策について協議

### ○平成30年度地場産食材使用率（調査結果状況）

<H30年度 年間合計> 地場産学校給食実施校数 276校（全校達成）

地場産食材使用率（重量ベース）43.6%

地場産食材使用品目数 27.0品目

<H30年6月調査結果> 地場産学校給食実施校数 276校（全校達成）

地場産食材使用率（重量ベース）40.4%

地場産食材使用品目数 26.3品目

<H30年11月調査結果> 地場産学校給食実施校数 276校（全校達成）

地場産食材使用率（重量ベース）46.8%

地場産食材使用品目数 27.7品目

## 5 野菜食（地産地消）と共食推進を目的とした「ふく囲鍋」等の普及

### ○「ふく囲鍋（ふくいなべ）」の推進

鍋は、旬の野菜や食材を多くとることができることにより栄養バランスが良く、地産地消にも貢献できるものであることから、季節の福井の味覚をふんだんに取り入れ、野菜食と共食をすすめる「ふく囲鍋」を推進した。

ふくい食材を味わう鍋料理のキャッチフレーズ → ふく囲鍋（ふくいなべ）		
期間	場所	内容
9月30日（日）	ハピテラス (商工会のしあわせ逸品フェア)	「ふく囲鍋」（ふくいポークを使ったキムチ鍋）を提供した。
11月12日（月） ～16日（金）	県庁ホール	「ふくい 味の週間」パネル展示で、「ふく囲鍋」のチラシを配布した。

12月7日(金) ～3月8日(金)	県庁食堂	期間中の金曜日に「ふく囲鍋」メニューを提供した。 回数：10回 鶏つくね鍋、白菜ミルフィーユ鍋など
----------------------	------	--

### ⑧ 「ふくいのパワーサラダ」の推進

県民の野菜の摂取を増やすことや地産地消の推進を目的に、民間企業（キューピー株式会社）と量販店（ハニー食彩店丸岡店）と連携し、6月の食育月間を皮切りに、県産野菜と果物の売場に、「ふくいのパワーサラダ」コーナーを設置（6月～12月）。6月24日（日）には、福井の野菜でつくる「ふくいのパワーサラダ」の試食紹介とレシピ配布を来店者に行った。

※「パワーサラダ」とは…野菜の他、果物、たんぱく質、種実等の4つの食材を組合せた一皿で栄養バランスが整うサラダとして、キューピー株式会社が提唱している。

## 6 米の消費拡大に向けた取り組み、朝ご飯推進を目的とした「ふくい

### 朝ごはんキャンペーン」（県とJAグループ）の実施

#### ○主な啓発活動

期間	場所	内容
4月～	福井テレビ等	JAによる「ふくい朝ごはんキャンペーン」の展開 ・テレビCMやポスター等を活用した、「ふくい朝ごはん」の普及と県民への理解促進を図った。
9月29日(土) ～10月9日(火) 10月13日(土) ～15日(月)	福井しあわせ元気 国体、障スポ 「はぴりゅう広場」	「いちほまれ」おにぎり配布 ・県民および全国各地から来場された方々に、競技以外でも楽しんでいただけるよう、おもてなしと、福井の新ブランド米「いちほまれ」のPRを兼ね、新米の「いちほまれ」でつくる、おにぎりの配布を行った。
9月29日(土) ～10月9日(火)	福井しあわせ元気国 体の県内各競技会場	JA女性部による、福井のおもてなし ・「いちほまれ」の新米おにぎりをはじめ、福井の特産農産物や各地元の食材を使った料理の振る舞いを行った。
11月18日(日)	福井県産業会館	ふくい食の祭典 ・新ブランド米「いちほまれ」のPRとして、「いちほまれ」で作る「おにぎりに」の試食と「甘酒」の試飲を来場者へ行った。

## 7 「ふくい 味の週間」「ふくい 食の祭典」の実施

### ○「つなごう福井の食」による展開（9～11月）

「故郷ふくいの食材や食文化を継承していく」ため、この趣旨に賛同する各市町で開催される食関連イベントと連携し、以下の事業を実施した。

- ・ 賛同する各地域のイベントを県HPで紹介
- ・ 共通のぼり旗をイベント会場で設置
- ・ 各地域の直売所に立ち寄ってもらうため、直売所にスタンプを設置し、「ふくい 食の祭典」で景品が当たるスタンプラリー抽選会を実施した。

### ○「ふくい 味の週間」期間の取組み

- ・ 県内量販店協賛フェアの実施

11月6日（火）～11月18日（日）

県内スーパー（ハニー、ヤスサキ、ハーツ各店）で、「ふくい 味の週間」コーナーを設置して、県産食材と食品企業商品を活用した「オリジナル地産地消レシピ」の提供といちほまれアタルデスキャンペーンの実施。

### ○「いちほまれ」給食の実施

11月中 県内小中学校および特別支援学校にて各1回ずつ「いちほまれ」を給食で提供した。

### ○セイコガニの食べ方授業

11月9日（金）～15日（木）

中学3年生を対象にセイコガニの食べ方を学ぶ授業を実施

### ○「ふくい健幸美食」認証メニューの提供協力店のPR

飲食店版、惣菜版認証メニューの提供店舗数 201店舗

### ○「おいしいふくいの食べきりの日」協力店のPR

- ・ 食べきりサービス実施飲食店舗数 63店舗
- ・ 食べきりの日啓発協力、食品販売店舗数 71店舗

### ○「ふくい食の祭典」の取組み

11月18日（日） 県産業会館

- ・ いちほまれのふるまい
- ・ 三ツ星若狭牛のふるまい

- ・食育体験コーナー
- ・県内農林漁業者や6次産業従事者等PRコーナー 他

## ○第12回全国高校生食育王選手権大会の取組み

- ・予選大会の実施

9月19日(水)、20日(木) 16:00~18:00

同一高校の3名1組のチームがインターネット上の予選サイトにアクセスし40問の食育クイズに回答する方式で、全10チームを選抜

→ 2日間で全国34都道府県303チームが参加

<参考>平成27年度実績: 38都道府県 309チーム

平成28年度実績: 33都道府県 314チーム

平成29年度実績: 37都道府県 320チーム

- ・決勝大会の実施(県産業会館1号館「キッチンスタジアム」)

11月18日(日) 9:00~16:00

<競技1>食育に関する知識・体感クイズ 5題

<競技2>食育チャレンジ対決 課題「鯖を使った即興オリジナルレシピ対決」

<競技3>テーマに合わせた料理作り 課題「店舗を想定したオリジナルメニューの提案」

### 【結果】

第12代食育王(石塚左玄賞)・農林水産省食料産業局長賞

北海道三笠高等学校(チーム:飛翔)

<本県からの決勝参加チーム>

奥越明成高等学校(準食育王)、三国高等学校(日本料理アカデミー賞)

## 8 その他の取組み

### ○「第3回 ふくいのおんぼでスマイル」写真コンテスト

将来を担う子ども達や県民に農業の大切さや魅力を伝えることを目的に、子どもが農業を手伝っている様子や田んぼや畑に親しんでいる様子を写した写真コンテストを実施した。

<応募期間> 4月16日(月)~9月28日(金)

<応募作品数> 75点

<表彰式> 平成30年11月18日(日) 県産業会館で開催した「ふくい食の祭典」会場にて、入賞作品9点の入賞者への賞状授与式を行った。

<写真展> 応募作品全てを紹介する「第3回ふくいのおんぼでスマイル写真展」実施

11月18日(日) 県産業会館「ふくい食の祭典」会場

11月26日(月) 11月30日(金) 県庁ホール

## ○福井県農産物直売所ネットワークの活動

- ・ふるさと知事ネットワーク直売所交流フェア

開催時期	開催場所	取扱い商品
2月	福井県内6直売所	6県の農産物を使った加工品等

- ・「ふくい 食の祭典」への出店（1店舗）
- ・ふくいの農産物直売所めぐりスタンプラリーの実施  
10月1日（月）～31日（水）、19店舗  
応募者の中から抽選で83名に福井県の特産品をプレゼント

## ○「ふくいの食育・地産地消ランチ」提供

ランチ名	提供場所	実施期間	概要
女子栄養大学 ランチ	県庁食堂	11月12日（月） ～11月16日（金）	県が「食と健康」に関する提携協定を結んでいる女子栄養大学の発行する「学食メニュー集（各年発行）」をもとに健康テーマを設定し、1週間分のランチメニュー（主食、主菜、副菜、汁およびデザート）を提供した。
	議会食堂 あすわ	2月4日（月） ～2月8日（金）	
仁愛大学 ランチ	県庁食堂	12月10日（月） ～12月14日（金）	福井県産品を使用し、かつ栄養バランス等を考慮したランチメニューを仁愛大学の学生が考案し「仁愛大学ランチ」として提供した。
ふく囲鍋 ランチ <b>【再掲】</b>	県庁食堂	12月7日（金）～ 3月8日（金）までの 金曜日 (祝日・特別メニュー提供期間 を除く)	季節の福井の味覚をふんだんに取り入れ、野菜食と共食をすすめる「ふく囲鍋」のレシピを参考に、12月7日（金）～翌年3月8日（金）までの金曜日に「ふく囲鍋ランチ」の提供を行った。 計10回